レース名	斤量	クラス	コース	距離	馬場	レース質	荒れ度	自信度
愛知杯	ハンデ	GIII	中京	芝2000m	良想定	平坦	中荒れ	C or D

※文字色の意味

2021/1/16

赤…GOOD妙味大な馬 青…BAD危険な馬

紫…DARKHORSE穴馬

枠番	名前	騎手	父	父系統	母父	母父系統	斤量	能力	コース	馬場	血統	展開	総合	人気	印	結果
1	ドナウデルタ	岩田望	ロードカナロア	キングマンボ	ディーフィンパクト	ディーフィンパクト	54	D	E	D	D	D	E	15	消	
2	ウインマイティ	松若	ゴールドシップ	ステイゴールド	カコイーシーズ	レイズアケイティヴ	53	C	B	B	C	C	C	8	△4	
3	ディアンドル	池添	ルーラーシップ	キングマンボ	スベシャルウィーク	サンデーサイレンス	54	D	E	D	C	E	E	18	消	
4	ウラスチャーム	岩田康	ルーラーシップ	キングマンボ	フジキセキ	フジキセキ	54	C	D	C	B	C	D	9	消	
5	センテリユオ	ルメール	ディーフィンパクト	ディーフィンパクト	エンドスウィープ	ミスターオブザ	56	B	B	C	C	A	B	1	○	
6	タガノアスウド	北村友	ネオユニヴァース	サンデーサイレンス	スピニングワールド	ヌレイエフ	52	D	C	C	C	D	D	16	消	
7	サトノガーネット	坂井	ディーフィンパクト	ディーフィンパクト	Victory Note	ノーザンダンサー	55	B	A	C	B	B	B	7	◎	
8	サマーセント	幸	ハービンジャー	デインヒル	サンデーサイレンス	サンデーサイレンス	52	C	B	B	A	C	C	13	△5	
9	カセドラルベル	松山	ハーツクライ	サンデーサイレンス	シンボリクリスエス	ロベルト	53	D	C	C	B	D	D	10	消	
10	サトノダムゼル	川田	ディーフィンパクト	ディーフィンパクト	Acatenango	ハンプトン	53	C	B	B	C	C	C	6	△3	
11	デンコウアンジュ	柴田善	メイショウサムソン	サドラーズウェルズ	マリエンバード	ニジンスキー	56	C	B	C	B	B	B	11	△1	
12	レッドアステル	武豊	ディーフィンパクト	ディーフィンパクト	Smart Strike	ミスターオブザ	53	C	B	C	C	A	B	2	▲	
13	アブレイズ	藤井勘	キズナ	ディーフィンパクト	ジャングルポケット	トニービン	53	D	C	C	B	D	D	17	消	
14	ランプリングアレー	福永	ディーフィンパクト	ディーフィンパクト	シンボリクリスエス	ロベルト	54	B	B	C	B	B	B	5	☆	
15	シゲルピンクダイヤ	和田竜	ダイワメジャー	サンデーサイレンス	High Chaparral	サドラーズウェルズ	54	B	C	C	C	C	C	3	△6	
16	リンディーホップ	武藤	ハーツクライ	サンデーサイレンス	Sri Pekan	ロベルト	52	D	B	C	B	C	D	14	消	
17	ナルハヤ	藤田菜	サクラブリジент	サンデーサイレンス	キングヘイロー	リファール	52	C	D	C	C	E	E	12	消	
18	マジックキャッスル	戸崎	ディーフィンパクト	ディーフィンパクト	シンボリクリスエス	ロベルト	54	C	B	C	C	B	C	4	△2	

※評価はこのレース中の相対評価になります

PREVIEW
<p>日経新春杯から200mだけ短い中京芝2000mで行われるレースですが、この舞台もスタート直後が急坂になっているので2回坂を登ることになるシチュエーション。牝馬限定重賞の中では芝2000mは長距離戦になりますし、その中でも最もタフな舞台に入る中京芝2000mで行われるということでもかなりスタミナが問われるレースになりやすい。過去5年のレース結果を見て明らかに差し追い込みタイプの活躍が目立っていますし、それだけ軽いタイプの先行馬が展開を利して粘りこむような競馬にはならないということだろう。</p> <p>今年のメンバーを見ても、逃げ候補がディアンドル、タガノアスウド、ナルハヤと3頭もいますし、特にタガノアスウドはこの枠を引いたとなれば何が何でも逃げろというオーダーが出るはず。一方でテンのスピードが抜群に速いナルハヤが大外枠を引きましたし、鞍上が藤田菜七子となれば乗り方の引き出しは逃げぐらいしかないだろう。そこにディアンドル、アブレイズあたりが絡む展開になれば牝馬限定戦にしてはペースは流れるはず。最後はズバツと差が決まる展開になっていいんじゃないだろうか。</p> <p>本命はベスト条件で展開も向けば◎サトノガーネットの鬼脚が徐々にハマるはず。一昨年の中日新聞杯は今回と同条件で鬼脚を見せて追い込み勝ち。昨年シーズンを見ても絶対的な末脚の質が問われた小倉記念と新潟記念は非常に強い競馬を見せていますし、それ以外のレースの敗因は大体がスローペースで展開が向いていない。今回はベスト条件で展開も向きそうですし、久々の激走があってもいいんじゃないだろうか。</p>

REVIEW
<p>（この欄はレビュー用の空欄です）</p>

コース特徴						
急坂を2回越えるのでタフな舞台。向こう正面で一旦ペースが緩んでからロンスバ戦になりやすい。						
馬場レベル&バイアス						
C標準 インの馬場は荒れ始めておりフラット傾向になるか						
血統傾向						
根幹距離の芝2000mにしては父SS系が不振で非SS系の活躍が目立つ。その中でもキングカメハメハの成績が優秀。過去2年はハービンジャー産駒が連続好走。デインヒル・ダンジク持ちの馬には注意。トニービン持ちも注意。						
展開						
何が何でも逃げたいタガノアスウドが内枠、藤田菜七子騎乗で抜群にテンに速いナルハヤが大外枠。ペースはそれなりに流れるんじゃないだろうか。						
データなど特記事項						
○55.5kg~56kg(4-2-3-4) ×前走1.0秒以上負けでハンデ55kg以下(0-0-0-24)						
危険な馬						
シゲルピンクダイヤ=今までのレースぶりや血統背景から見ても、この馬はマイル戦でじっくり脚を溜めて良きが出るタイプ。前走の金銭賞は距離延長で和田騎手が積極策で凡走パターンに見えましたが、超スローペースになったことで前に行ったところで負担にならない展開になったのが全て。						
妙味大な馬						
サトノガーネット=一昨年の中日新聞杯は今回と同条件で鬼脚を見せて追い込み勝ち。昨年シーズンを見ても絶対的な末脚の質が問われた小倉記念と新潟記念は非常に強い競馬を見せていますし、それ以外のレースの敗因は大体がスローペースで展開が向いていない。今回はベスト条件で展開も向く。						
穴馬						
デンコウアンジュ=2走前は善手な休み明けながらあわやの激走。馬場や展開を考えた最も強い競馬をしたのはこの馬だったか。前走は惨敗となったが、超スローペースで完全に脚を余していました。度外視できそうな内容。まだ衰えきっていない感じがします。						
<table border="1"> <tr> <th>想定時計</th> <th>上3F</th> <th>下3F</th> </tr> <tr> <td>1:59:4</td> <td>35.3</td> <td>35.5</td> </tr> </table>	想定時計	上3F	下3F	1:59:4	35.3	35.5
想定時計	上3F	下3F				
1:59:4	35.3	35.5				
想定ラップタイム						
12.5 -10.5 -12.3 -12.5 -12.0 -12.2 - 11.9 -11.6 -11.7 -12.2						

Copyright (C) 2014 - KAZ
All Rights Reserved.
本資料の一部または全部を、許可なく再配布することを禁じます。

枠番	名前	騎手	印	総合評価	想定人気	PREVIEW	結果	REVIEW
1	ドナウデルタ	岩田望	消	E	15	一連のレースぶりを見てマイルでも距離が長そう馬。今回は1400mへの距離短縮どころか2000mへの距離延長ということで、さすがに厳しいんじゃないだろうか。	0	
2	ウインマイティ	松若	△4	C	8	明け4歳世代の準一級と見える存在。秋華賞は馬場があつておらず、紫苑Sのレース内容からすればそこそこ強い可能性も。ただ、能力の根拠と言えるオウスのレースレベルがイマイチ怪しいのでまだ信用しきれない。	0	
3	ディアンドル	池添	消	E	18	1200mから距離を伸ばして若干良化は見られるが、それにしても2000mは長そう。タガノアスワド、ナルハヤという同型もいますし、流石に厳しいんじゃないだろうか。	0	
4	ウラスチャーム	岩田康	消	D	9	4歳時まではある程度スパッとした脚も使える馬だったが、昨年シーズンからキレが一切失われてスタミナ特化型になった感じ。いくらタフ今回の条件と言ってもスピード不足な感じがします。	0	
5	センテリユオ	ルメール	○	B	1	エリザベス女王杯はスタートで出遅れて差し損ねた感じのレースぶり。ここに来て成長している感じがしますし、今回のメンバーなら能力上位。差が決まりやすいレース傾向で、鞍上もルメールならばそれなりに評価していいんじゃないだろうか。	0	
6	タガノアスワド	北村友	消	D	16	とにかく逃げてマイペースに持ち込まなければダメな馬。前走の中日新聞杯は超スローに持ち込みながらも抵抗できず。今回は牝馬限定戦とは言えナルハヤ、ディアンドルと同型が揃ったのでペースが合わなそう。さすがに厳しいんじゃないだろうか。	0	
7	サトノガーネット	坂井	◎	B	7	一昨年の中日新聞杯は今回と同条件で鬼脚を見て追い込み勝ち。昨年シーズンを見て絶対的な末脚の質が問われた小倉記念と新潟記念は非常に強い競馬を見せていますし、それ以外のレースの敗因は大体がスローペースで展開が向いていない。今回はベスト条件で展開も向きそうですし、久々の激走があってもいいんじゃないだろうか。	0	
8	サマーセント	幸	△5	C	13	マーメイドSはハンデに恵まれて馬場や展開にも完璧に恵まれての勝利。今回は久々になりますし、どこまでやれるかは半信半疑。ただハービンジャー産駒は舞台適性良さそうなので、状態さえ良ければおさえおいてもいい感じはする。	0	
9	カセドラルベル	松山	消	D	10	準オープン勝ちがタイムランクEだったので結果的にここ2戦は過大評価だった感じ。前走は好位追走から完全に力負けをしたようなレースぶりでしたし、今回は牝馬限定戦とは言え厳しいんじゃないだろうか。	0	
10	サトノダムゼル	川田	△3	C	6	欧州血統で今が成長期のディーブインパクト産駒だと思いが、前走に関しては内枠でスローペースに完全に恵まれての2着という感じ。新潟記念も完璧に展開に恵まれていましたし、展開に恵まれずどこまでやれるかは今回で判明するか。	0	
11	デンコウアンジュ	柴田善	△1	B	11	2走前は苦手な休み明けながらあわやの激走。馬場や展開を考えても最も強い競馬をしたのはこの馬だったか。前走は惨敗となったが、超スローペースで完全に脚を余していましたし、度外視できそうな内容。まだ衰えきっていない感じがしますし、差が決まる展開になれば今回は一発あってもいいんじゃないだろうか？	0	
12	レッドアステル	武豊	▲	B	2	すでに準オープン時代にキングオブコースと接戦。前走もコントロール相手に楽勝でしたし、相手関係やフレッシュなディーブインパクト産駒という点からも間違いなく人気になるはず。まあその評価通りに昇級初戦でフレッシュなところは走れていいタイミングだと思います。ただ、netkeibaの想定オッズ8番人気ではとても買えないでしょう。	0	
13	アブレイズ	藤井勘	消	D	17	フラワーカップは展開向かないながらも先行策から押し切る競馬でしたが、今振り返るとこの組から全く活躍馬が出ていませんし、メンバーレベルが低かったのは事実か。それ以降のレース内容を見てみてもさすがにここでは厳しいか。	0	
14	ランプリングアレー	福永	☆	B	5	前走のターコイズSはマイルの距離が短かった感じで脚がたまたらず。カンオペアSで倒したボツケリーニはその後に重賞を購っているわけで、当然この馬も重賞を購るポテンシャルはあるはず。何よりも今の中京芝コースで福永騎手というだけで上位評価にしておいた方が良さそう。	0	
15	シゲルピンクダイヤ	和田竜	△6	C	3	今までのレースぶりや血統背景から見ても、この馬はマイル戦でじっくり脚を溜めて良さが出るタイプ。前走の金鯱賞は距離延長と和田騎手が積極策で凡走パターンに見えましたが、超スローペースになったことで前に行ったところで負担にならない展開になったのが全てだったか。今回も同じような競馬をするならば最後は垂れると思います。	0	
16	リンディーホップ	武藤	消	D	14	前走は顕著すぎる外差し馬場でも全馬がインを開けるようになってこの馬ぐらいの枠が一番恵まれるレースに。左回り巧者ではあるが前走は恵まれた部分も。さすがに今回はどうだろうか。	0	
17	ナルハヤ	藤田菜	消	E	12	クイーンSでハイペースで逃げて粘った内容を見て地味ながら能力はありそうな馬。ただ、一連のレースぶりを見て2000mでは最後に脚が鈍るの距離が長そう。今回は同型が割といますし、藤田菜七子騎手となるとこの馬のテンのスピードを活かして逃げる競馬しかできなそう。逃げるよと決め打ちして競り合っただけでハイペースを作り出して欲しい。	0	
18	マジックキャッスル	戸崎	△2	C	4	秋華賞は大野騎手がこれ以上ないぐらいに完璧に乗っての2着激走。それ以前の紫苑S、オウスのレース内容を見ても明け4歳で抜けているような馬ではないと思いますし、前走ほど恵まれなければそこまで強調できる馬には思えません。	0	